



有線式バーコードリーダー バーコードプログラミングマニュアル

対象機種

F460	F560	F680
		
L680	F780	
		

この度は有線式バーコードリーダーをご購入頂き
誠にありがとうございます。

ご利用前に本誌を十分にお読みいただき製品の準備を行って下さい。

製品のお取り扱いの注意事項	1
製品の開梱.....	1
ステータスインジケータの表示状態.....	1
免責事項.....	1
サポートページのご案内	1
ユーザズガイド改定履歴	2
各設定項目の見方.....	3
クイックセットアップコマンド	3
パラメータセットアップコマンド.....	4
インターフェースコネクタの接続.....	5
USB インターフェース (HID 又は COM)	5
RS232C インターフェース.....	5
PS/2 (DOS/V) インターフェース	5
各部名称.....	6
各インターフェースの導入時設定.....	7
<i>USB (HID) インターフェース</i>	7
<i>USB (COM) インターフェース</i>	8
<i>RS232C インターフェース</i>	9
<i>PS/2 (DOS/V) インターフェース</i>	10
インターフェース.....	11
USB (HID) インターフェース	11
USB (COM) インターフェース	11
RS232C インターフェース.....	11
PS/2 インターフェース.....	11
オペレーションモード	12
インターフェースコントロール	14
キーボードレイアウト (キーボード)	14
レコードサフィックス (キーボード)	15
プリアンブル (キーボード)	15
ポストアンブル (キーボード)	15
FNC1 シンボルキャラクタトランスミッション (キーボード)	16
キャプスロック (キーボード)	16

キャプスロックリリース (キーボード)	16
インターメッセージディレイ (キーボード)	17
インターキャラクタディレイ (キーボード)	17
インターファンクションディレイ (キーボード)	17
ファンクキーエミュレーション (キーボード)	18
キーパッドエミュレーション (キーボード)	18
アッパー/ローアー (キーボード)	18
STX/ETX 転送 (シリアル)	19
レコードサフィックス (シリアル)	19
プリアンブル (シリアル)	19
ポストアンブル (シリアル)	20
FNC1 シンボルキャラクタトランスミッション (シリアル)	20
インターメッセージディレイ (シリアル)	20
インターキャラクタディレイ (シリアル)	21
インターファンクションディレイ (シリアル)	21
ハンドシェイクプロトコル (シリアル)	21
NAK リトライカウント (シリアル)	22
ACK インジケーション① (シリアル)	22
ACK インジケーション② (シリアル)	22
ボーレート (シリアル)	23
データフレーム (シリアル)	23
シリアルレスポンスタイムアウト (シリアル)	24
オプションコントロール	25
プレゼンテーションコントロール (F 専用)	25
スキャンレートコントロール (F 専用)	25
フラッシュデュティサイクル (F 専用)	25
スマートスタンドパワーオフタイムアウト (L 専用)	26
LED イルミネーションコントロール (L 専用)	26
LED イルミネーションディレイ (L 専用)	26
1D バーコードディレクションインジケーショントランスミッション (F, L 専用)	27
1D バーコードフォワードリーディングインジケーション (F, L 専用)	27
1D バーコードバックワードリーディングインジケーション (F, L 専用)	27
トリガーコントロール (F460 専用)	28
ブザー①	29
ブザー②	29
インバースリーディング	29
パワーオンインジケータ	30
グッドリードインジケータ	30

バイブレーションコントロール	30
リダンダンシー	31
リリードディレイ	31
グッドリードディレイ	31
ライトソースオンタイム	32
ハンズフリータイムアウト	32
グッドリードデュレーション	32
タイムディレイローパワーモード.....	33
プレゼンテーションオートセンス.....	33
プレゼンテーションセンシティビティ.....	33
シンボル.....	34
リーダブルシンボロジーセッティング.....	34
シンボルコードID.....	35
シンボルID トランスミッション	36
データレングストランスミッション.....	36
CODE39	37
TRIOPTIC CODE39.....	37
CODE39 (最小桁数)	38
CODE39 (最大桁数)	38
CODE39 セキュリティレベル.....	38
CODABER/NW-7.....	39
CODABAR/NW-7 (最小桁数).....	39
CODABAR/NW-7 (最大桁数).....	40
UPC	41
UPC/JAN セキュリティレベル.....	42
UPC アドオン.....	42
UPC サプリメントスキャンボウディング.....	43
JAN	44
JAN セキュリティレベル.....	44
JAN アドオン.....	45
JAN スキャンボウディング.....	45
新雑誌コード	46
UGC COUPON EXTENDED CODE	46
IATA	47
INTERLEAVED 2OF5	48
CODE25	48
CODE25 (最小桁数)	49
CODE25 (最大桁数)	49

CODE11	50
CODE11 (最小桁数)	50
CODE11 (最大桁数)	50
CODE93	51
CODE93 (最小桁数)	51
CODE93 (最大桁数)	51
MSI/PLESSEY	52
MSI/PLESSEY (最小桁数)	52
MSI/PLESSEY (最大桁数)	52
CODE128	53
CODE128 (最小桁数)	53
CODE128 (最大桁数)	53
GS1-128	54
GS1-128 (最小桁数)	54
GS1-128 (最大桁数)	54
CODE128 セキュリティレベル	55
UK/PLESSEY	56
UK/PLESSEY (最小桁数)	56
UK/PLESSEY (最大桁数)	56
TELEPEN	57
TELEPEN (最小桁数)	57
TELEPEN (最大桁数)	57
GS1 DATABER	58
GS1 DATABER (最小桁数)	58
GS1 DATABER (最大桁数)	58
GS1 DATABER LIMITED セキュリティレベル	59
AUSTRALIAN POST	59
US PLANET	60
US POSTNET	60
BRITISH POSTNET	60
JAPANESE POST	61
NETHERLAND KIX CODE	61
INTELLIGENT MAIL (USPS 4CB/ONE CODE)	61
KOREA POST CODE	62
データウィザード	63
データ付加機能	63
データ照合機能	65
データ置換機能	67

データ構成機能	69
データウィザードの設定方法	71
ファンクションコードテーブル(キーボード)	75
ASCII コードテーブル.....	76
オプションコード (設定用バーコード)	77
システムコマンドバーコード	78
サンプルバーコード.....	79

製品のお取り扱いの注意事項

本製品は安全性を十分に考慮して設計されていますが、誤った使い方をすると思わぬ事故の原因となります。ご利用方法を十分に理解してお使い頂けます様お願い申し上げます。

製品の開梱

梱包箱を開けた際は、下記の確認を行ってください。

- ・製品およびケーブル等の損傷がないか確認します。
損傷があった場合は、すぐに配達運送会社および販売店にご連絡ください。
- ・箱の中身に間違いがないか確認します。
- ・修理時の返却もしくは返送が必要な場合に梱包箱が必要になる場合がございます。
大切に保管してください。

ステータスインジケータの表示状態

- ・無点灯 ・・・読み取り待機状態 又は電源 OFF
- ・青点灯（緑点灯）・・・読み取り成功

免責事項

- ・GINO ブランド（PCWotr社）及び弊社は、本書に記載された使用およびその他の情報を事前に断りなく変更することがあります。
- ・本書の記載内容や編集上の誤り等で発生した損害については、PCW 及び弊社は一切の責任を負いません。
- ・本書には著作権で保護された情報が含まれ著作権法の対象になります。

サポートページのご案内

各種ツールやドキュメントをご希望の方は下記の URL よりダウンロード頂けます。

「サービス&サポート」のホームページ URL

<http://www.improject.co.jp/support/download.html>

ユーザーID : cinopartner パスワード : improject

ユーザーズガイド改定履歴

改定日付	REV	改定内容
2016年9月	3.0(D10)	有線式バーコードリーダー統合版をリリース
2017年1月	3.1(D10)	レイアウトを一部変更

各設定項目の見方

本製品の設定は、本書記載のバーコードコマンドを利用します。

設定手順は該当する項目に直接記載をしております。

このページでは各項目の名称や留意事項をお知らせ致します。

クイックセットアップコマンド

下記のフォーマットの記載項目では、設定開始バーコードなどは必要なく該当の項目を一度読み取ることで設定が変更されます。

クイックセットアップコマンド・無線接続モードが該当します。

表示参照例：

クイックセットアップコマンド	
クイックセットアップコマンドはホストインターフェース・オペレーションモードを容易に設定できるコマンドです。 ※クイックセットアップコマンドは設定開始バーコードから設定する必要はありません。 該当するコマンドを読み取って頂くことで設定変更が可能です。	
◆ホストインターフェース◆	
PS/2 (DOS/V) KBW Standard Mode (PS/2スタンダードモードインターフェース(DOS/V))	PS/2 (DOS/V) KBW Turbo Mode (PS/2ターボモードインターフェース(DOS/V))
	
Keyboard Replacement (PS/2リプレイスメントインターフェース)	RS232 Serial (RS232インターフェース)
	

各設定項目の見方

パラメータセットアップコマンド

下記のフォーマット記載項目では、設定開始・設定終了のバーコードが必要になります。
クイックセットアップコマンド以外は以下の方法で設定します。

表示参照例



設定開始

← 設定開始バーコード

設定終了バーコード →



設定終了

◆設定手順◆

Code 39

設定開始 → 項目バーコード

→ オプションコード(巻末) → 設定終了

<u>設定コード</u> → 	↓設定値↓
Code 39 読まない	0
Code 39 読む (初期値)	1
Code 39 スタンダードプライマリフォーマット (初期値)	2
Full ASCII Code 39 プライマリフォーマット	3
Code 32 プライマリフォーマット	4
スタートストップキャラクタを転送しない (初期値)	5
スタートストップキャラクタを転送する	6

設定例①: 「Code39を読まない」に設定

設定開始 → 項目バーコード → Code39 読まないの右側の番号が0の為、
巻末の設定用バーコードより「0」を読み取る → 設定終了

設定例②: 「スタートストップキャラクタを転送する」に設定

表示例を見て頂くと設定変更項目に白い部分と色がついているに分かれています。
これは、Code39 に数種類に設定項目があることを表しています。

設定開始 → 項目バーコード → 巻末の設定用バーコードより「4」を読み取る →
再度項目バーコード → 巻末の設定用バーコードより「6」を読み取る → 設定終了

設定例②の場合、連続して「4」6」と読み取ると正しく設定が行えませんのでご注意ください。

インターフェースコネクタの接続

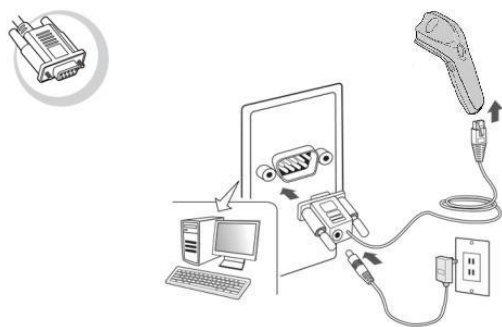
本バーコードリーダーのインターフェースは USB、RS232C、PS/2 (DOS/V) を選択頂けます。
選択したインターフェースに応じてホストに正しく接続して下さい。

USB インターフェース (HID 又は COM)

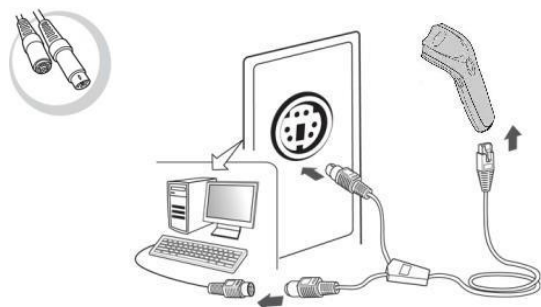


*USB (COM) ポートエミュレーションをご選択の方はホストに USB コネクタを接続する前に
専用の USB シリアルドライバーをインストールして下さい。

RS232C インターフェース



PS/2 (DOS/V) インターフェース



各部名称

各モデルの各部名称は以下の表ををご参照下さい。

モデル名		ケーブルの着脱方法
F460		
	<p>パワースイッチ ステータスインジケータ トリガー スキャンウインドウ レーザー ケーブルリリースホール</p>	
F560		
	<p>ステータスインジケータ トリガー スキャンウインドウ レーザー ケーブルリリースホール</p>	
F680/L680		
	<p>パワースイッチ ステータスインジケータ トリガー スキャンウインドウ レーザー ケーブルリリースホール</p>	
F780		
	<p>パワースイッチ ステータスインジケータ トリガー スキャンウインドウ レーザー ケーブルリリースホール</p>	

各インターフェースの導入時設定

機器お届け時はご指定のインターフェースに応じた設定を行っております。

詳細な設定の必要のない場合は、接続してすぐにお使いいただけます。

繰り返しスキャナを機器に接続してもデータが表示されない場合は、以下に記載する項目を設定していただくことでお届け時の設定に戻すことができます。



USB (HID) インターフェース

Factory Default (工場出荷時設定)



USBスタンダードインターフェース



日本語キーボードレイアウト



設定開始



バイブレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

各インターフェースの導入時設定



USB (COM) インターフェース

*USB (COM) インターフェースでご使用の場合は、接続機器に専用の USB シリアルドライバーのインストールが必要となります。

↓ USB シリアルドライバーは下記のサイトよりダウンロード出来ます。 ↓

<http://www.improject.co.jp>

Factory Default (工場出荷時設定)



USB (COM) ポートエミュレーション



設定開始



バイブレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

各インターフェースの導入時設定



RS232C インターフェース

RS232C の通信初期設定			
ボーレート	: 9600	パリティ	: None
データ長	: 8	ストップビット	: 1

Factory Default (工場出荷時設定)



RS232C インターフェース



設定開始



バイブレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

各インターフェースの導入時設定



PS/2 (DOS/V) インターフェース

Factory Default (工場出荷時設定)



PS/2 (DOS/V) インターフェース



日本語キーボードレイアウト



設定開始



バイブレーションコントロール



無効



設定終了






本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

インターフェース

通信/充電クレードルをご利用の場合はインターフェースの設定が必要になります。
ご希望のインターフェース設定を選び該当のバーコードを読み取って下さい。

USB (HID) インターフェース

スタンダードモード (初期値)	ターボモード (高速転送モード)
	
レガシーモード	
	

USB (COM) インターフェース






注意 : USB (COM) インターフェースをご利用の場合は専用の USB シリアルドライバーのインストールを行って下さい。シリアルドライバーは弊社ホームページよりダウンロード頂けます。

RS232C インターフェース



PS/2 インターフェース

スタンダードモード	ターボモード (高速転送モード)
	
リプレースメントモード	
	

USB HID 又は PS/2 インターフェースをご選択された場合は
下記の「日本語キーボード対応」バーコードを読み取って下さい。



オペレーションモード

ご使用の用途に応じてスキャナの動作モードを選択することが出来ます。
該当の項目を読みとって頂くことで設定が変更されます。

トリガーモード（初期値）	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
トリガーを引くと読み取りLEDを発光します。 バーコードをデコードするとスキャナは待機状態になります。	
ローパワーモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
トリガーを引くと読み取りLEDを発光します。 バーコードをデコードするとスキャナは休止状態になります。 この設定はをすることで省電力設定としてご利用いただけます。	
プレゼンテーションモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
周囲の光の差分を検地して読み取りLEDを発光します。 デコード後一定時間が経過すると自動消灯しは周囲に変化があると再度自動発光します。 注1：周囲Luxの環境が十分でない場合、適切に動作しない場合がございます。	
フォースモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
自動で継続的に読み取りLEDを発光します。 バーコードを高速でデコードする環境にはこのモードをご利用ください。	

オペレーションモード

フラッシュモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
自動で継続的に読み取り LED を点滅発光します。 点滅のタイミング時間は設定により変更することが出来ます。	
オルタネイティブモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 発光中は連続して読み取りを行いますが一定期間が経過すると消灯するモードです。	
トグルモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 発光中は連続して読み取りを行い発光中に再度トリガーを引くと読み取り LED を消灯します。	
レベルモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 発光してから設定した時間を経過したら読み取り LED を消灯します。	

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

キーボードレイアウト (キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

キーボードレイアウト設定をします。	
	
アメリカ (QWERTY) (初期値)	00
フランス (AZERTY)	01
ドイツ (QWERTZ)	02
イギリス - 英国 (QWERTY)	03
カナダフランス (QWERTY)	04
スペイン (Spanish , QWERTY)	05
スウェーデン/フィンランド (QWERTY)	06
ポルトガル (QWERTY)	07
ノルウェー (QWERTY)	08
スペイン (Latin America , QWERTY)	09
イタリア (QWERTY)	10
オランダ (QWERTY)	11
デンマーク (QWERTY)	12
ベルギー (AZERTY)	13
スイス - ドイツ (QWERTZ)	14
アイスランド (QWERTY)	15
日本 (DOS/V)	16
チェコ (QWERTY)	17

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

レコードサフィックス（キーボード）

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

端末キーの設定をします。	
	
無し	0
RETURN（初期値）	1
TAB	2
SPACE	3
ENTER（数字キーパット）	4
任意キャラクタ指定	5[00 - 7F]

◆設定手順◆

プリアンブル（キーボード）

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データの前に任意のキャラクタを設定します。	
	
無し（初期値）	セット
任意キャラクタ指定（1～15桁で設定）	[00 - 7F]

◆設定手順◆

ポストアンブル（キーボード）

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データの後ろに任意のキャラクタを設定します。	
	
無し（初期値）	セット
任意キャラクタ指定（1～15桁で設定）	[00 - 7F]

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

FNC1 シンボルキャラクタトランスミッション (キーボード) 設定開始 → 項目バーコード→
オプションコード(巻末) → 設定終了

データソースに FNC1 があった場合にキー転送する設定をします。



無効	0
有効 (初期値)	1

◆設定手順◆

キャプスロック (キーボード) 設定開始 → 項目バーコード→
オプションコード(巻末) → 設定終了

キャプスロックの設定をします。



無効 (初期値)	0
有効	1
自動判別	2

◆設定手順◆

キャプスロックリリース (キーボード) 設定開始 → 項目バーコード→
オプションコード(巻末) → 設定終了

キャプスロックを一時的に解除する設定をします。



キャプスロック有効、キャプス無効 (初期値)	0
キャプスロック有効、シフト無効	1

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

インターメッセージディレイ (キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データを出力する前にディレイを設定します。	
無効 (初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値×0.005 秒)	2 桁

◆設定手順◆

インターキャラクタディレイ (キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データのキャラクタ毎にディレイを設定します。	
無効 (初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値×0.005 秒)	2 桁

◆設定手順◆

インターファンクションディレイ (キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データの後ろにディレイを設定します。	
無効 (初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値×0.005 秒)	2 桁

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

ファンクキーエミュレーション (キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ファンクションキーの転送方法を設定します。



ASCII 00-31 キーファンクションコードで転送する (初期値)	0
Ctrl で転送する	1

◆設定手順◆

キーパッドエミュレーション (キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

数値キーパッドで転送を設定します。



無効 (初期値)	0
有効 (Num Lock On)	1

◆設定手順◆

アッパー/ローアー (キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

キーボードのデータ出力形式を設定します。



標準 (初期値)	0
反転	1
上段	2
下段	3

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

STX/ETX 転送 (シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

STX/ETX 転送を設定します。	
	
無効 (初期値)	0
有効	1

◆設定手順◆

レコードサフィックス (シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了


端末キーの設定をします。	
	
無効	0
CR (Hex:0D) (初期値)	1
LF (Hex:0A)	2
CRLF (Hex:0D0A)	3
TAB (Hex:09)	4
SPACE (Hex:20)	5

◆設定手順◆

プリアンブル (シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データの前に任意のキャラクタを設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
任意キャラクタ指定 (1~15 桁で設定)	[00 - 7F]

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

ポストアンプル（シリアル）

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データの後ろに任意のキャラクタを設定します。



無効（初期値）	セット
任意キャラクタ指定（1～15桁で設定）	[00 - 7F]

◆設定手順◆

FNC1 シンボルキャラクタトランスミッション（シリアル）

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データソースに FNC1 があつた場合にキー転送する設定をします。



無効	0
有効（初期値）	1

◆設定手順◆

インターメッセージディレイ（シリアル）

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データを出力する前にディレイを設定します。



無効（初期値）	0
設定値 1 - 99（設定値×0.005秒）	2桁

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

インターキャラクタディレイ (シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データのキャラクタ毎にディレイを設定します。



無効 (初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値×0.005 秒)	2 桁

◆設定手順◆

インターファンクションディレイ (シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データの後ろにディレイを設定します。



無効 (初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値×0.005 秒)	2 桁

◆設定手順◆

ハンドシェイクプロトコル (シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

フロー制御を設定します。



無効 (初期値)	0
RTS/CTS (ハードウェアハンドシェイク)	1
ACK/NAK (ソフトウェアハンドシェイク)	2
Xon/Xoff (ソフトウェアハンドシェイク)	3

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

NAK リトライカウント (シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データ送信後のフロー制御応答回数の制限を設定します。	
3回 (初期値)	セット
0回~255回	3桁

◆設定手順◆

ACK インジケーション① (シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ACK 応答の表示に関する設定をします。	
無効: タイムアウト (初期値)	0
有効: タイムアウト	1

◆設定手順◆

ACK インジケーション② (シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ACK 応答の表示に関する設定をします。	
無効 (初期値)	2
有効	3

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

ボーレート (シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

通信速度を設定します。			
			
38400BPS	0	2400BPS	4
19200BPS	1	1200BPS	5
9600BPS (初期値)	2	57600BPS	8
4800BPS	3	115200BPS	9

◆設定手順◆

データフレーム (シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データのフォーマットを設定します。			
見方：8、無し、1」 = 8ビット、パリティ無し、1ストップビット			
			
8、無し、1 (初期値)	0	7、スペース、1	8
8、偶数、1	1	7、マーク、1	9
8、奇数、1	2	7、無し、2	A
8、スペース、1	3	7、偶数、2	B
8、マーク、1	4	7、奇数、2	C
8、無し、2	5		
7、偶数、1	6		
7、奇数、1	7		

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

シリアルレスポンスタイムアウト（シリアル）

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

スキャナが応答を待機する時間を設定します。



無効	0	3 秒	6
0.2 秒	1	4 秒	7
0.5 秒（初期値）	2	5 秒	8
0.8 秒	3	8 秒	9
1 秒	4	10 秒	A
2 秒	5		

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

プレゼンテーションコントロール (F 専用)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

スキャナがスタンドにセットされた場合に自動発光モードに切り替わります。
不十分な照明環境下ではフラッシュモード又はフォースモードを推奨します。(R560 非対応)



プレゼンテーションモード (初期値)	0
フラッシュモード	1
フォースモード	2

◆設定手順◆

スキャンレートコントロール (F 専用)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り環境に合わせた設定をします。



動的 (初期値)	0
固定	1

◆設定手順◆

フラッシュデュティサイクル (F 専用)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

フラッシュモードの点滅間隔を調整します。



1/2 回 (初期値)	0
2/3 回	1
3/4 回	2
4/5 回	3

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

スマートスタンドパワーオフタイムアウト (L 専用)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

スキャナがスタンドにセットされている時の照明点灯時間を設定します。



3分 (初期値)	0
5分	1
10分	2

◆設定手順◆

LED イルミネーションコントロール (L 専用)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

常にオンを選択した場合はトリガーを引くと照明が同期して発光します。

インテリジェントモードを選択した場合はトリガーを引いた後に
LED イルミネーションディレイで設定した時間が経過後に照明が発光します。



常にオン	0
インテリジェントモード (初期値)	1

◆設定手順◆

LED イルミネーションディレイ (L 専用)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

LED イルミネーションコントロールを選択した際の照明遅延時間の設定をします。



0.1秒	0	0.25秒	2
0.15秒 (初期値)	1	0.3秒	3
0.2秒	0		

オプションコントロール



設定開始



設定終了

1D バーコードディレクションインジケーション
トランスミッション (F, L 専用)

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

1次元バーコードを読み取った際の正方向、逆方向を判別します。



無効 (初期値)	0
プリフィックスに方向キャラクタを付加する	1
サフィックスに方向キャラクタを付加する	2
プリフィックスとサフィックスに方向キャラクタを付加する	3

1D バーコードフォワードリーディング
インジケーション (F, L 専用)

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

1Dバーコードディレクションインジケーショントランスミッションの正方向キャラクタを設定します。



無効 (初期値)	0
キャラクタ「S」	1
任意キャラクタ指定 (1キャラクタ)	2[00 - 7F]

1D バーコードバックワードリーディング
インジケーション (F, L 専用)

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

1Dバーコードディレクションインジケーショントランスミッションの逆方向キャラクタを設定します。



無効 (初期値)	0
キャラクタ「X」	1
任意キャラクタ指定 (1キャラクタ)	2[00 - 7F]

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

トリガーコントロール (F460 専用)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

トリガースイッチの有効と無効を設定します。



左トリガー：有効 右トリガー：無効	0
左トリガー：無効 右トリガー：有効	1
左トリガー：有効 右トリガー：有効 (初期値)	2

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ブザー①

読み取りブザーの音程を設定します。



無効	0
低音	1
標準 (初期値)	2
高音	3
最高音	4

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ブザー②

起動音の設定をします。



有効 (初期値)	5
無効	6

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

インバースリーディング

白黒反転バーコードに関する設定をします。



無効 (初期値)	0
有効	1

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

パワーオンインジケータ

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

起動中のインジケータの点灯方法を設定します。



無効	0
点灯 (初期値)	1
点滅	2

◆設定手順◆

グッドリードインジケータ

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り成功時のインジケータの点灯を設定します。



無効	0
有効 (初期値)	1

◆設定手順◆

バイブレーションコントロール

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り成功時のバイブレーションの設定をします。



無効	0
有効 (初期値)	1

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

リダンダンシー

読み取り照合レベルの設定をします。			
無効	0	レベル 3	3
レベル 1 (初期値)	1	レベル 4	4
レベル 2	2	レベル 5	5

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

リリードディレイ

同一バーコードの読み取りタイミングの設定をします。			
無効	0	標準	3
即時 (初期値)	1	長い	4
短い	2	読まない	5

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

グッドリードディレイ

読み取り後の次のバーコード読み取りに関する設定をします。			
無効 (初期値)	0	1.5 秒	4
0.2 秒	1	2 秒	5
0.5 秒	2	3 秒	6
1 秒	3		

オプションコントロール



設定開始



設定終了

ライトソースオンタイム

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り LED の投光時間の長さを設定します。			
短い	0	長い (初期値)	2
標準	1	最長	3

◆設定手順◆

ハンズフリータイムアウト

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

マニュアルトリガーモードの状態を維持する時間を設定します。 この機能はハンズフリーモード使用時のみ対応します。			
短い (初期値)	0	最長	3
標準	1	無効	4
長い	2		

◆設定手順◆

グッドリードデュレーション

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り成功音の長さを設定します。			
短い	0	最長	3
標準 (初期値)	1	最短	4
長い	2		

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

タイムディレイローパワーモード

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

スキャン後に省電力状態に移行する時間を設定します。

この機能はローパワーモード使用時のみ対応します。



1 秒	0	7 秒	3
3 秒	1	9 秒	4
5 秒	2	無効 (初期値)	5

◆設定手順◆

プレゼンテーションオートセンス

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

スタンドにセットした場合のハンズフリーモード設定をします。

この機能はハンズフリーモード使用時のみに対応します。



無効	0
有効 (初期値)	1

◆設定手順◆

プレゼンテーションセンシティブティ

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

プレゼンテーションモード使用時の発光感度の調整をします。



レベル 1	0	レベル 5 (初期値)	4
レベル 2	1	レベル 6	5
レベル 3	2	レベル 7	6
レベル 4	3		

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

リーダブルシンボロジーセッティング

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取りシンボルを設定します。



自動 (初期値)	00	Code11	10
Code-128	01	MSI/Plessey	11
GS1-128	31	UK/Plessey	12
UPC-A	02	Telepen	13
UPC-E	03	GS1 Databar (RSS-14)	14
JAN-13	04	IATA	15
JAN-8	05	Korea Post Code	21
Codabar / NW-7	06	QR Code/Micro QR Code	A0
Code39	07	Australian Post	B0
Tripotic Code 39	47	British Post	B1
Standard / Industrial 2 of 5	08	Intelligent Mail	B3
Matrix 2 of 5	38	Japanese Post	B4
Interleaved 2 of 5	48	KIX Post	B5
Caina Postal Code	58	Planet Code	B6
Germany Postal Code	68	Postnet	B8
Code93	09		

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

シンボルコード ID

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

各シンボルのコードIDを設定します。初期値 Ci = CINO_ID , AI = AIM_ID



Code-128 (Ci=B, AI=]C)	00	Trioptic Code39 (Ci=W, AI=]X)	20
GS1-128 (Ci=C, AI=]C)	01	UCC Cupoupon Expanded Code (Cino=Z)	21
UPC-A (Ci=A, AI=]E)	02	PDF417/MicroPDF417 (Ci=V, AI=]L)	22
JAN-13 (Ci=F, AI=]E)	03	CodablockF (Ci=Y, AI=]O)	23
Codabar/NW-7 (Ci=D, AI=]F)	04	Code16K (Ci=Q, AI=]K)	24
Code39/Code32 (Ci=G, AI=]A)	05	Code49 (Cino=U, AIM=]T)	25
Code93 (Ci=H, AI=]G)	06	Koria Post Code (Cino=a, AIM=]X)	26
Standard/Industrial2of5 (Ci=I, AI=]S)	07	QR & Micro QR Code (Cino=b, AIM=]Q)	28
Inateleaved2of5 (Ci=J, AI=]i)	08	Data Matrix (Cino=c, AIM=]d)	29
Matrix2of5 (Ci=K, AI=]X)	09	Maxi Code (Cino=d, AIM=]U)	30
Chaina Postal Code (Ci=L, AI=]X)	10	Aztec Code (Cino=e, AIM=]z)	31
German Postal Code (Ci=M, AI=]I)	11	Chinese Sensible (Cino=f, AIM=]X)	32
IATA (Ci=O, AI=]R)	12	Australian Post (Cino=g, AIM=]X)	33
Code11 (Ci=P, AI=]H)	13	British Post (Cino=h, AIM=]X)	34
MSI/Plessey (Ci=R, AI=]M)	14	Intelligent Mail* (Cino=j, AIM=]X)	36
UK/Plessey (Ci=S, AI=]P)	15	Japan Post (Cino=k, AIM=]X)	37
Telepen (Ci=T, AI=]B)	16	Netherlands KIX Post (Cino=l, AIM=]X)	38
GS1 Databar (Ci=X, AI=]e)	17	US Planet (Cino=m, AIM=]X)	39
UPC-E (Ci=E, AI=]E)	18	US Postnet (Cino=o, AIM=]X)	41
JAN-8 (Ci=N, AI=]E)	19		

*(USPS 4CB/One Code)

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

シンボル ID トランスミッション

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

シンボル ID の転送設定をします。	
	
シンボル ID を転送しない (初期値)	0
データの先頭に CINO シンボル ID を付加する。	1
データの後ろに CINO シンボル ID を付加する。	2
データの先頭と後ろに CINO シンボル ID を付加する。	3
データの先頭に AIM シンボル ID を付加する。	4
データの後ろに AIM シンボル ID を付加する。	5
データの先頭と後ろに AIM シンボル ID を付加する。	6

◆設定手順◆

データレングストランスミッション

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取りデータの桁数を出力します。	
	
無効 (初期値)	0
有効 (2-4 桁)	1

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

Code39

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code39 の各種パラメータを設定します。



Code39 を読まない	0
Code39 を読む (初期値)	1
Code39 スタンダードフォーマット (初期値)	2
Full ASCII Code39 フォーマット	3
Code32 フォーマット	4
スタートストップキャラクタを転送しない (初期値)	5
スタートストップキャラクタを転送する	6
Code32 「A」 を転送しない (初期値)	7
Code32 「A」 を転送する	8
モジュラス 43 で計算しない (初期値)	9
モジュラス 43 で計算する	A
チェックデジットを転送しない (初期値)	B
チェックデジットを転送する	C
Code39 をバッファリングしない (初期値)	D
Code39 をバッファリングする	E

◆設定手順◆

Trioptic Code39

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Trioptic Code39 の読み取り可否を設定します。



無効 (初期値)	0
有効	1

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

Code39 (最小桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code39 の最小桁数を設定します。	
	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

Code39 (最大桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code39 の最大桁数を設定します。	
	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

Code39 セキュリティレベル

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code39 のセキュリティレベルを設定します。	
	
レベル 0	0
レベル 1	1
レベル 2 (初期値)	2
レベル 3	3

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Codaber/NW-7

Codaber / NW_7 の各種パラメータを設定します。



Codaber / NW-7 を読まない	0
Codaber / NW-7 を読む (初期値)	1
Codaber / NW-7 スタンダードフォーマット (初期値)	2
Codabar / NW-7 ABC フォーマット	3
Codaber / NW-7 CLSI フォーマット	4
Codaber / NW-7 CX フォーマット	5
スタートストップキャラクタを転送しない (初期値)	6
スタートストップキャラクタを ABCD/ABCD で転送する	7
スタートストップキャラクタを abcd/abcd で転送する	8
スタートストップキャラクタを ABCD/TN*E で転送する	9
スタートストップキャラクタを abcd/tn*e で転送する	A
モジュラス 16 で計算しない (初期値)	B
モジュラス 16 で計算する	C
チェックデジットを転送しない (初期値)	D
チェックデジットを転送する	E

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Codabar/NW-7(最小桁数)

Codaber/NW-7 の最小桁数を設定します。



4 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Codabar/NW-7(最大桁数)

Codabar/NW-7の最大桁数を設定します。



Codabar/NW-7の最大桁数を設定します。	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UPC

UPC の各種パラメータを設定します。



UPC-A を読まない	0
UPC-A を読む (初期値)	1
UPC-E を読まない	2
UPC-E を読む (初期値)	3
UPC-E を UPC-A に変換しない (初期値)	4
UPC-E を UPC-A に変換する	5
UPC を JAN に変換しない (初期値)	6
UPC を JAN に変換する	7
UPC システムナンバーを転送しない	8
UPC システムナンバーを転送する (初期値)	9
UPC-A チェックデジットを転送しない	A
UPC-A チェックデジットを転送する (初期値)	B
UPC-E チェックデジットを転送しない	C
UPC-E チェックデジットを転送する (初期値)	D
先頭桁“1”の場合は UPC と識別しない (初期値)	E
先頭桁“1”の場合は UPC と識別する	F

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

UPC/JAN セキュリティレベル

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UPC デコードセキュリティレベルを設定します。

レベル1が最速の読み取り設定となります。



レベル0	0	レベル1 (初期値)	1
レベル2	2		

◆設定手順◆

UPC アドオン

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UPC のアドオン設定をします。



UPC アドオン無し (初期値)	0
UPC アドオン2桁を読む	1
UPC アドオン5桁を読む	2
UPC アドオン2 / 5桁を読む	3
UPC アドオンが追加されていないコードも読む (初期値)	4
UPC アドオンが追加されていないコードは読まない	5
UPC アドオン先頭桁にスペースを追加しない (初期値)	6
UPC アドオン先頭桁にスペースを追加する	7

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

UPC サプリメントスキャンボウディング

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

サプリメントスキャンボウディングはアドオン 2/5 桁を読み取る際の設定です。

この設定でデータを転送する前のデコード回数を設定します。

より高いレベルで設定をすると低コントラストや損傷したバーコードの
読み取り速度に影響を与える可能性があります。



無効	0	レベル 7	7
レベル 1	1	レベル 8	8
レベル 2	2	レベル 9	9
レベル 3 (初期値)	3	レベル 10	A
レベル 4	4	レベル 11	B
レベル 5	5	レベル 12	C
レベル 6	6	レベル 13	D

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

JAN

JAN の各種パラメータを設定します。	
JAN-13 を読まない	0
JAN-13 を読む (初期値)	1
JAN-8 を読まない	2
JAN-8 を読む (初期値)	3
JAN-8 を JAN-13 に変換しない (初期値)	4
JAN-8 を JAN-13 に変換する	5
JAN-13 チェックデジットを転送しない	6
JAN-13 チェックデジットを転送する (初期値)	7
JAN-8 チェックデジットを転送しない	8
JAN-8 チェックデジットを転送する (初期値)	9
ISBN/ISSN に変換しない (初期値)	A
ISBN/ISSN に変換する	B

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

JAN セキュリティレベル

JAN デコードセキュリティレベルを設定します。 レベル1が最速の読み取り設定となります。			
レベル0	0	レベル1 (初期値)	1
レベル2	2		

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

JAN アドオン

JAN のアドオン設定をします。



JAN アドオン無し (初期値)	0
JAN アドオン 2 桁を読む	1
JAN アドオン 5 桁を読む	2
JAN アドオン 2 / 5 桁を読む	3
JAN アドオンが追加されていないコードも読む (初期値)	4
JAN アドオンが追加されていないコードは読まない	5
JAN アドオン先頭桁にスペースを追加しない (初期値)	6
JAN アドオン先頭桁にスペースを追加する	7

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

JAN スキャンボウディング

サプリメントスキャンボウディングはアドオン 2/5 桁を読み取る際の設定です。

この設定でデータを転送する前のデコード回数を設定します。

より高いレベルで設定をすると低コントラストや損傷したバーコードの読み取り速度に影響を与える可能性があります。



無効	0	レベル 7	7
レベル 1	1	レベル 8	8
レベル 2	2	レベル 9	9
レベル 3 (初期値)	3	レベル 10	A
レベル 4	4	レベル 11	B
レベル 5	5	レベル 12	C
レベル 6	6	レベル 13	D

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

新雑誌コード

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了


新雑誌コード (JAN) の設定します。	
	
無効 (初期値)	0
全てのアドオン追加バージョンを読む	1
先頭 491 のアドオン追加バージョンのみを読む	2
先頭 978/979 のアドオン追加バージョンのみを読む	3
先頭 977 のアドオン追加バージョンのみを読む	4
先頭 378/379 のアドオン追加バージョンのみを読む	5
先頭 414/419 のアドオン追加バージョンのみを読む	6
先頭 434/439 のアドオン追加バージョンのみを読む	7

◆設定手順◆

UCC Coupon Extended Code

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

<p>UCC Coupon Extended Code の設定します。</p> <p>UCC Coupon Code を有効にすると UPC-A 先頭桁「5」と JAN-13「99」から始まるコードを読み取ります。</p> <p>この設定を有効にするには、UPC-A・JAN13 及び GS1-128 の全ての読み取りを許可しなければなりません。</p>	
	
無効 (初期値)	0
有効	1

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

IATA

IATAの各種パラメータを設定します。



IATA 読まない(初期値)	0
IATA 読む	1
15桁の IATA を検査する (初期値)	2
可変長の IATA を読む	3
チェックデジットを検査しない (初期値)	4
チェックデジットを検査する	5
S/Nのみを検査する	6
CANのみを検査する	7
S/N・CANを検査する	8
チェックデジットを転送しない (初期値)	9
チェックデジットを転送する	A
スタートストップキャラクタを転送しない (初期値)	B
スタートストップキャラクタを転送する	C

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Interleaved 2of5

Interleaved2of5 の各種パラメータを設定します。



Interleaved2of5 を読まない	0
Interleaved2of5 を読む (初期値)	1
Interleaved2of5 フォーマット (初期値)	2
German Postal フォーマット	3
チェックデジット無効 (初期値)	4
USS チェックデジット有効	5
OPCC チェックデジット有効	6
チェックデジットを転送しない (初期値)	7
チェックデジットを転送する	8

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code25

Code25 の各種パラメータを設定します。

Code25 を読み取る場合は誤読防止のため桁数を限定して
1 種類のコード体系の読み取りをお奨めいたします。



Standard / Industrial 2of5 を読まない	0
Standard / Industrial 2of5 を読む (初期値)	1
Matrix 2of5 を読まない (初期値)	2
Matrix 2of5 を読む	3
チェックデジットを計算しない (初期値)	6
チェックデジットを計算する	7
チェックデジットを転送しない (初期値)	8
チェックデジットを転送する	9

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code25 (最小桁数)

Code25 の最小桁数を設定します。



4 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code25 (最大桁数)

Code25 の最大桁数を設定します。



98 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code11

Code11 の各種パラメータを設定します。



Code11 を読まない	0
Code11 を読む (初期値)	1
チェックデジットを計算しない (初期値)	2
1桁目のチェックデジットを計算する	3
2桁目のチェックデジットを計算する	4
チェックデジットを転送しない (初期値)	5
チェックデジットを転送する	6

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code11 (最小桁数)

Code11 の最小桁数を設定します。



4桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1桁 - 98桁)	数字 2桁

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code11 (最大桁数)

Code11 の最大桁数を設定します。



98桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1桁 - 98桁)	数字 2桁

シンボル



設定開始



設定終了

Code93

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code93 の各種パラメータを設定します。



Code93 を読まない	0
Code93 を読む (初期値)	1
チェックデジットを転送しない (初期値)	2
チェックデジットを転送する	3

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code93 (最小桁数)

Code93 の最小桁数を設定します。



1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code93 (最大桁数)

Code93 の最大桁数を設定します。



98 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

MSI/Plessey

MSI/Plessey の各種パラメータを設定します。



MSI/Plessey を読まない (初期値)	0
MSI/Plessey を読む	1
モジュラス 10 で計算する (初期値)	2
モジュラス 10-10 で計算する	3
モジュラス 11-11 で計算する	4
チェックデジットを転送しない (初期値)	5
チェックデジットを転送する	6

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

MSI/Plessey (最小桁数)

MSI/Plessey の最小桁数を設定します。



4 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

MSI/Plessey (最大桁数)

MSI/Plessey の最大桁数を設定します。



98 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

Code128

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code128 の各種パラメータを設定します。	
	
Code128 と GS1-128 を読まない	0
Code128 と GS1-128 を読む (初期値)	1
ISBT 連結しない (初期値)	2
ISBT 連結する	3

◆設定手順◆

Code128 (最小桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code128 の最小桁数を設定します。	
	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

Code128 (最大桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code128 の最大桁数を設定します。	
	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

GS1-128

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1-128 の各種パラメータを設定します。	
GS1-128 を読まない	0
GS1-128 を読む (初期値)	1

◆設定手順◆

GS1-128 (最小桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1-128 の最小桁数を設定します。	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

GS1-128 (最大桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code128 の最大桁数を設定します。	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

Code128 セキュリティレベル

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code128 のデコードセキュリティレベルを設定します。
レベル1 では印刷品質が悪く誤読をする場合はレベル0 を選択して下さい。



レベル0	0
レベル1 (初期値)	1

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UK/Plessey

UK/Plessey の各種パラメータを設定します。



UK/Plessey を読まない (初期値)	0
UK/Plessey を読む	1
UK/Plessey スタANDARDフォーマット (初期値)	2
UK/Plessey CLSI フォーマット	3
A-F を X に変換しない (初期値)	4
A-F を X に変換する	5
チェックデジットを転送しない (初期値)	6
チェックデジットを転送する	7

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UK/Plessey (最小桁数)

UK/Plessey の最小桁数を設定します。



4 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UK/Plessey (最大桁数)

UK/Plessey の最大桁数を設定します。



74 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Telepen

Telepen の各種パラメータを設定します。



Telepen を読まない (初期値)	0
Telepen を読む	1
Telepen 数字モード (初期値)	2
Telepen フルアスキーモード	3
チェックデジットを転送しない (初期値)	4
チェックデジットを転送するA-FをXに変換する	5

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Telepen (最小桁数)

Telepen の最小桁数を設定します。



4桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1桁 - 98桁)	数字2桁

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Telepen (最大桁数)

Telepen の最大桁数を設定します。



74桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1桁 - 98桁)	数字2桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1 Databer

GS1 Databer の各種パラメータを設定します。



GS1 Databer (RSS-14) を読まない	0
GS1 Databer (RSS-14) を読む (初期値)	1
GS1 Databer Limited を読まない	2
GS1 Databer Limited を読む (初期値)	3
GS1 Databer Expanded を読まない	4
GS1 Databer Expanded を読む (初期値)	5

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1 Databer (最小桁数)

GS1 Databer の最小桁数を設定します。



4 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 74 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1 Databer (最大桁数)

GS1 Databer の最大桁数を設定します。



74 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 74 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

GS1 Databar Limited セキュリティレベル

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1 Databar Limited のセキュリティレベルを設定します。 この機能は F460、F560 のみ対応します。	
レベル 1	0
レベル 2	1
レベル 3 (初期値)	2

◆設定手順◆

Australian Post

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Australian Post のパラメータを設定します。	
Australian Post を読まない (初期値)	0
Australian Post を読む	1
生データ出力 (初期値)	2
数字エンコード出力 (N エンコードテーブル)	3
アルファベットエンコード出力 (C エンコードテーブル)	4
自動判別出力 (C & N エンコードテーブル)	5

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

US Planet

US Planet のパラメータを設定します。



US Planet を読まない (初期値)	0
US Planet を読む	1
チェックデジットを送信しない (初期値)	2
チェックデジットを送信する	3

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

US Postnet

US Postnet のパラメータを設定します。



US Postnet を読まない (初期値)	0
US Postnet を読む	1
チェックデジットを送信しない (初期値)	2
チェックデジットを送信する	3

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

British Postnet

British Postnet のパラメータを設定します。



British Postnet を読まない (初期値)	0
British Postnet を読む	1
チェックデジットを送信しない (初期値)	2
チェックデジットを送信する	3

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

Japanese Post

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Japanese Post のパラメータを設定します。	
	
Japanese Post を読まない (読まない)	0
Japanese Post を読む	1

◆設定手順◆

Netherland KIX Code

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Netherland KIX Code のパラメータを設定します。	
	
Netherland KIX Code を読まない (読まない)	0
Netherland KIX Code を読む	1

◆設定手順◆

Intelligent Mail (USPS 4CB/One Code)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Intelligent Mail のパラメータを設定します。	
	
Intelligent Mail を読まない (読まない)	0
Intelligent Mail を読む	1

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Korea Post Code

Korea Post Code のパラメータを設定します。



Korea Post Code のパラメータを設定します。	
	
Korea Post Code を読まない (読まない)	0
Korea Post Code を読む	1

データウィザード



設定開始



設定終了

データ付加機能

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

読み取ったデータに任意のキャラクタを付加する設定をします。	
無効（初期値）	セット
特定のシンボルを指定して適用する	2桁
全てのシンボルを適用する	00

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

セット1

任意のキャラクタ 1 を設定します。最大 3 キャラクタ)	
無効（初期値）	セット
有効	設定手順参照

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

セット2

任意のキャラクタ 2 を設定します。最大 3 キャラクタ)	
無効（初期値）	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始



設定終了

セット3

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページ
を参照して下さい。

任意のキャラクタ3を設定します。最大3キャラクタ)	
	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページ
を参照して下さい。

セット4

任意のキャラクタ4を設定します。最大3キャラクタ)	
	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始




設定終了

データ照合機能

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

読み取ったデータを照合する設定をします。	
	
無効（初期値）	セット
特定のシンボルを指定して適用する	2桁
全てのシンボルを適用する	00

データ桁数

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

読み取ったデータの桁数を設定します。	
	
無効（初期値）	セット
有効	設定手順参照

セット1

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

照合するデータ1を設定します。	
	
無効（初期値）	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始




設定終了

セット 2

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページ
を 参照して下さい。

照合するデータ 2 を設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

セット 3

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページ
を 参照して下さい。

照合するデータ 3 を設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始




設定終了

データ置換機能

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

読み取ったデータを置換する設定をします。	
	
無効（初期値）	セット
特定のシンボルを指定して適用する	2桁
全てのシンボルを適用する	00

セット1

◆設定手順◆


データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

置換するデータ1を設定します。	
	
無効（初期値）	セット
有効	設定手順参照

セット2

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

置換するデータ2を設定します。	
	
無効（初期値）	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始



設定終了


セット 3

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページ
を 参照して下さい。

置換するデータ 3 を設定します。



置換するデータ 3 を設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始



設定終了

データ構成機能

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

読み取ったデータの出力構成を設定します。	
無効（初期値）	セット
特定のシンボルを指定して適用する	2桁
全てのシンボルを適用する	00

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

セット1（後方出力）

データの後方を出力する設定をします。	
無効（初期値）	セット
有効	設定手順参照

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

セット2（前方出力）

データの前方を出力する設定をします。	
無効（初期値）	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始



設定終了

指定キャラクターのデータ

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページ
を参照して下さい。

指定した桁数のキャラクターを含む・含まないの設定をします。



指定された桁数のデータを送信データに含まない（初期値）	0
指定された桁数のデータを送信データに含む	1

データウィザード

データウィザードの設定方法

(1) シンボル

データウィザードで使用するシンボルコードは下記をご参照下さい

1次元シンボル			
Code-128	01	Gaina Postal Code	58
GS1-128	31	Germany Postal Code	68
UPC-A	02	Standard / Industrial 2 of 5	08
UPC-A アドオン2桁	32	Code93	09
UPC-A アドオン5桁	42	Code11	10
UPC-E	03	MSI/Plessey	11
UPC-E アドオン2桁	33	UK/Plessey	12
UPC-E アドオン5桁	43	Telepen	13
JAN-13	04	GS1 Databar (RSS-14)	14
JAN-13 アドオン2桁	34	IATA	15
JAN-13 アドオン5桁	44	Coupon Code	16
JAN-8	05	PDF417	17
JAN-8 アドオン2桁	35	CodablockF	18
JAN-8 アドオン5桁	45	Code 16K	19
Codabar / NW-7	06	Code49	20
Code39	07	GS1 Databar Limited	22
Code32	37	GS1 Databar Expanded	23
Tripotic Code 39	47	Composite Codes	24
Matrix 2 of 5	38	MicroPDF417	25
Interleaved 2 of 5	48		
ポスタルコード			
Korea Post Code	21	Japanese Post	B4
Australian Post	B0	KIX Post	B5
British Post	B1	Planet Code	B6
Intelligent Mail	B3	Postnet	B8

データウィザード

(2) 設定方法の例

データ付加機能

例：Code39 の「0123456789」の 45 の間に A を付加する。

①：Code39 を指定

設定開始 → 設定コード(データ付加機能) → Code39 を指定「07」 → 設定終了

②：①を指定して 45 の間に A キャラクタを付加

設定開始 → 設定コード(セット1) → 位置指定「セット1」 → キャラクタを指定「41」
→ 設定終了

設定後の出力結果は「0123456789」が「01234A56789」となります。

データ照合機能

例：Code39 の「0123456789」の 4 を一致照合する。

①：Code39 を指定

設定開始 → 設定コード(データ照合機能) → Code39 を指定「07」 → 設定終了

②：データの桁数を照合

設定開始 → 設定コード(データ桁数) → 桁数指定「10」 → セット → 設定終了

③：データのキャラクタを照合

設定開始 → 設定コード(セット1) → 位置指定「05」 → キャラクタ指定「34」 →
セット → 設定終了

設定後は Code39 で 5 桁目が 4 の場合のみ読み取りを行います。

データウィザード

データ置換機能

例：Code39 の「0123456789」の 4 を A に置換する。

①：Code39 を指定

設定開始 → 設定コード(データ置換機能) → Code39 を指定「07」 → 設定終了

②：位置を指定して置換キャラクタを指定

設定開始 → 設定コード(セット1) → 位置指定「05」 → キャラクタ指定「41」 →
セット → 設定終了

設定後の出力結果は「0123456789」が「0123A56789」となります。

データ構成機能

例：JAN-13、4976558101499」から「6558101」のみを出力する。

①：JAN-13 を指定

設定開始 → 設定コード(データ置換機能) → Code39 を指定「04」 → 設定終了

②：セット1 (後方出力) を指定

設定開始 → 設定コード(セット1) → 位置指定「03」 → 後方出力「1」 → 設定終了

③：セット2 (前方出力) を指定

設定開始 → 設定コード(セット2) → 位置指定「09」 → 前方出力「0」 → 設定終了

④：指定キャラクタの出力を指定

設定開始 → 設定コード(指定キャラクタのデータ) → 含む「1」 → 設定終了

設定後の出力結果は「4976558101499」が「6558101」となります。

データウィザード

データ構成機能の設定イメージ

位置情報

位置	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
桁数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
データ	4	9	7	6	5	5	8	1	0	1	4	9	9

設定イメージ解説

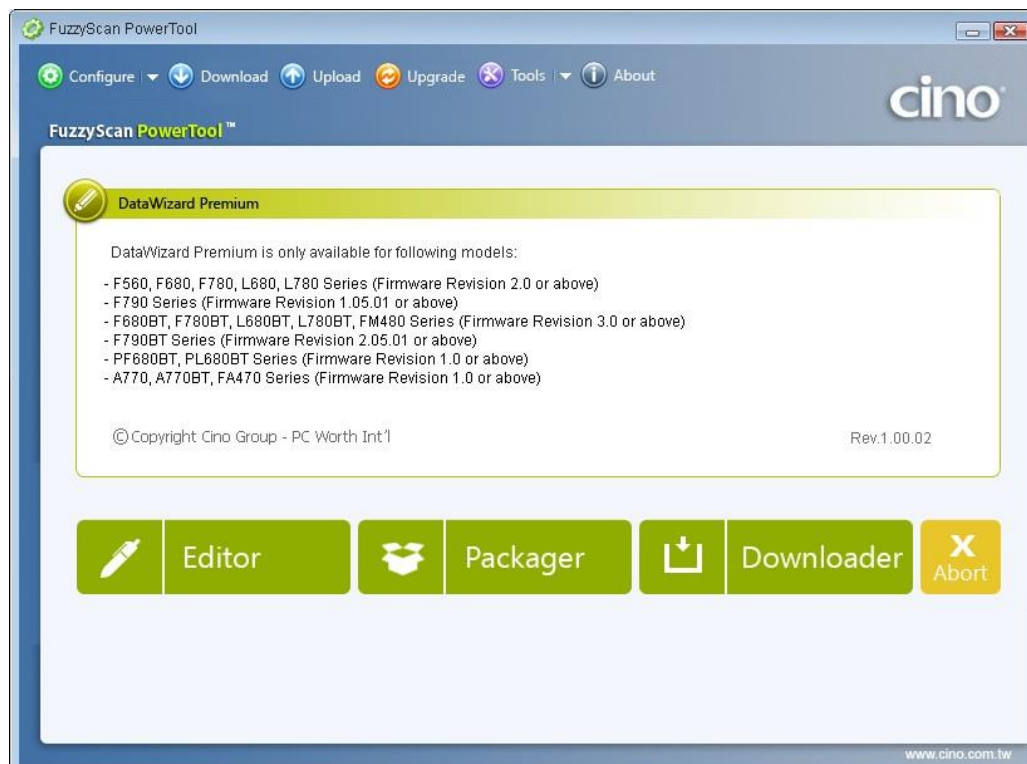
セット1	4番目以降のデータを出力する												
セット2	9番目以前のデータを出力する												
指定	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

データウィザードで編集が難しい場合

データウィザードで編集が難しい場合はデータ高編集プラグイン機能の

「データウィザードプレミアム」をご検討下さい。

本機能をご希望のお客様は販売代理店にご相談下さい。



ファンクションコードテーブル(キーボード)

ファンクションコードテーブルは制御コードが挿入されたバーコードをを読み取った際に置き換わるファンクションキーを記載した表です。

No	ANSI	ASCII	ファンクション	No	ANSI	ASCII	ファンクション
00	NUL	00	Reserved	16	DLE	10	F7
01	SOH	01	CTRL (Left)	17	DC1	11	F8
02	STX	02	ALT (Left)	18	DC2	12	F9
03	ETX	03	Shift	19	DC3	13	F10
04	EOT	04	Caps Lock	20	DC4	14	F11
05	ENQ	05	Num Lock	21	NAK	15	F12
06	ACK	06	ESC	22	SYN	16	Ins (Insert) (Edit)
07	BEL	07	F1	23	ETB	17	Del (Delete) (Edit)
08	BS	08	Back Space	24	CAN	18	Home (Edit)
09	HT	09	Tab	25	EM	19	End (Edit)
10	LF	0A	F2	26	SUB	1A	PageUp (Edit)
11	VT	0B	F3	27	ESC	1B	PageDown (Edit)
12	FF	0C	F4	28	FS	1C	Up (Edit)
13	CR	0D	Enter (CR)	29	GS	1D	Down (Edit)
14	SO	0E	F5	30	RS	1E	Left (Edit)
15	SI	0F	F6	31	US	1F	Right (Edit)

*ASCII は HEX 表示です。

ASCII コードテーブル

ASCII コード表はキャラクタの指定に使う表です。

各種設定で利用する際は HEX 値の指定でキャラクタを選択します。

HEX 値	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SPACE	0	@	P	.	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	I	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	
D	CR	GS	~	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

キャラクタの指定例

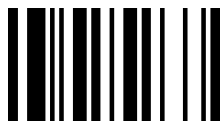
「1」を指定する場合

“1”は横の列で4列目にあり、横列の番号で言うと「3」の列にあります。

“1”は縦の列で2列目にあり、縦列の番号で言うと「1」の列にあります。

従って、横“3” 縦“1”となり設定用オプションバーコードで1を指定する際は「31」となります。

オプションコード（設定用バーコード）



0



8



4



C



1



9



5



D



2



A



6



E



3



B



7



F



セット



設定終了

システムコマンドバーコード

工場出荷時設定



本設定バーコードを読み取ると全ての設定が工場出荷時の初期値に戻ります。

システムインフォメーションリスト



本設定バーコードを読み取ると指定したインターフェースからバージョンを出力します。

セーブユーザーデフォルト



本設定バーコードを読み取ると現在の設定をフラッシュエリアに保存します。

ユーザーデフォルト



本設定バーコードを読み取ると保存した設定を呼び出して設定されます。

サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E



JAN-13



JAN-8



Code39



サンプルバーコード

Codabar / NW-7



Interleaved 2of5



Code93



Matrix 2of5



Code128



サンプルバーコード

GS1 Databar (RSS-14)



新雑誌コード

(JAN13 + アドオン5桁)



サンプルバーコード

QR Code



Data Matrix





株式会社アイエムプロジェクト

〒333-0811 埼玉県川口市戸塚 2-21-34

アルトピアノ 2F

TEL : 048-299-5062 FAX : 048-456-5382

<http://www.improject.co.jp>

201701

【販売代理店】

日栄インテック株式会社

e-mail: info@barcode.ne.jp

バーコード情報サイト

検索

www.barcode.ne.jp